

1. 環境に配慮した製品の開発

企画の段階から製品ライフサイクル全体を見据えて
トータルの環境負荷を低減するよう開発に努めています。

Highlight 2009

LC-CO₂排出量を40%削減

2009年度に新発売した高速カラープリンター「オルフィスX」シリーズでは、
ライフサイクルアセスメント(LCA)の結果を開発・設計段階に反映させました。
その結果、基本性能を向上させたうえで、従来機種比でLC-CO₂排出量 **解説1** を40%削減しました。

研究開発の基本的な考え方

**創業以来受け継がれる開発方針のもと
先進のプリントソリューションを提供**

理想科学は、「世界に類のないものを創る」という開発方針のもと、デジタル印刷機「リソグラフ」に代表される独自の印刷技術を核に、先進のプリントソリューションを提供するさまざまな製品を開発・製造してきました。

その開発姿勢は創業以来脈々と受け継がれてきており、当社の代表的製品であるオルフィスXシリーズをはじめリソグラフRZシリーズにおける環境配慮設計や、「RISO SOYインク」などの環境配慮型製品の開発にも生かされています。

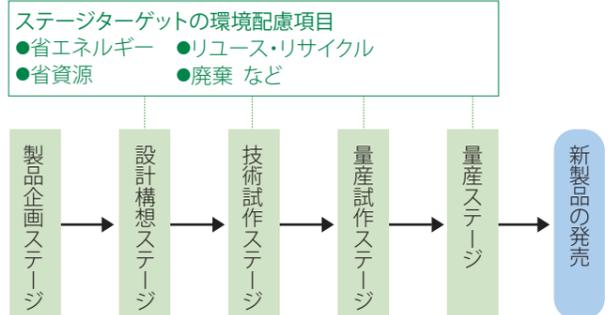
製品への環境配慮の実施プロセス

製品の環境配慮を確実にするために

当社は、商品企画から量産に至る過程を5つのステージに分割し、製品に対する環境配慮を計画的に実施しています。各ステージでは、環境配慮とともに品質、コスト、日程などを「ステージターゲット」として定め、その達成度および計画の進捗状況を確認のうえ、次のステージに移行できるかどうかを判定しています。

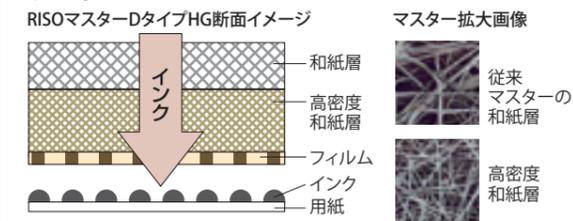
ステージターゲットの環境配慮項目には、省エネルギー、省資源、リユース・リサイクル、廃棄などに関する課題が含まれています。

環境配慮の実施プロセス



TOPICS インク転移量の適正化を実現

「リソグラフMD6650W」で使用されている「RISOマスターDタイプHG」 **解説2** は、従来の和紙層にさらに密度の高い和紙層を重ね二層にすることで、紙へのインク転移量の適正化を実現。従来以上にきめ細かな階調表現や精細な再現ができるようになりました。



解説1 LC-CO₂排出量

製品のライフサイクル全体の環境負荷をCO₂排出量に換算した値。

解説2 マスター

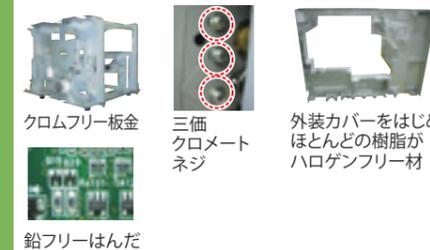
リソグラフの印刷方式一孔版印刷において原版となるもの。このマスターに孔をあけてインクを通すことで印刷することができます。

製品における環境配慮

オルフィスX、リソグラフRZの環境配慮

共通環境配慮事項

RoHS対応 **解説3**



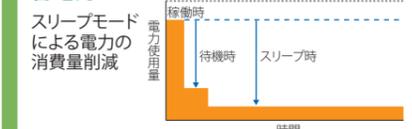
リサイクル設計



環境ラベル取得



省電力



オルフィスXの環境配慮事項

- 従来機種に比べて省スペース化により、製品重量、LC-CO₂排出量を大幅削減
- インクカートリッジにダンボールとスパウトバックを採用し、インクカートリッジ1本当たりの樹脂使用量を削減

リソグラフRZの環境配慮事項

- 省インクモードを搭載
- インクボトルの再生樹脂を新たなインクボトルのキャップに使用
- インクの粘度低減により印刷負荷を低減
- SOYインクを使用

解説3 RoHS対応

EUIにおける電気・電子機器に含まれる特定危険物質の使用制限に関する指令において、6物質群(鉛・カドミウム・水銀・六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル)の使用を制限しています。